

スポーツ健康科学課程

●課程の教育理念と教育目的

この課程は、「スポーツ指導者養成コース」と「スポーツキャリア開発コース」から成りますが、いずれのコースもスポーツ・健康分野の専門的知識、実技力、指導力を身につけた人材の育成を目指します。少子高齢化が加速する現代社会において、運動やスポーツは、健康の維持・増進、体力の向上、ストレスの緩和などに重要な役割を担っています。「スポーツ指導者養成コース」は、総合型地域スポーツクラブでの実習や健康運動指導士の資格取得カリキュラムを通して、子どもから高齢者まで、それぞれのライフステージに応じた実践ができるスポーツ指導者や運動指導者を養成します。「スポーツキャリア開発コース」は、学生の自己目標を支援するカリキュラムを通して、スポーツやダンスなどのキャリアを社会や文化で活かそうとする人材を養成します。競技者あるいはダンサーとしての成長とキャリアアップを目指すとともに、社会の中で広く求められている能力(ジェネリックスキル)を身につけます。

所定の科目を履修することにより、健康運動指導士の受験資格が得られます。

●課程のディプロマ・ポリシー(学位授与の方針、卒業時に必ず身につける能力)

<知識・理解>

1. 充実した生涯学習社会を築くため、スポーツや健康に関する確かな専門的知識を修得している。

<思考・判断>

2. 現代社会で生じている健康やスポーツに関するさまざまな課題について論じ、適切な対応を考えることができる。

<技能・表現>

3. 多世代に対する運動指導やそれに関連した活動に取り組むために必要とされる高い実践的指導力を身につけている。

<関心・意欲>

4. スポーツや健康に関する課題に関心を持ち、主体的に課題解決に向かって、理論と指導を連関させた取り組みができる。

<態度>

5. 多世代にわたる対人関係能力およびコミュニケーション能力を獲得し、豊かな地域社会づくりに貢献するための適切な行動ができる。

●課程のアドミッション・ポリシー(学生受け入れの方針、入学時に問われる能力)

<知識・理解・実技能力>

1. 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。

・高等学校で履修する国語, 地理歴史, 公民, 数学, 理科, 外国語などについて, 内容を理解し, 高等学校卒業相当の知識を有している。

・スポーツ, 音楽, 造形などに関して, 修学に必要な実技能力を有している。

<思考・判断>

2. 物事を多面的かつ論理的に考察することができる。

<技能・表現>

3. 自分の考えを的確に表現し, 伝えることができる。

<関心・意欲>

4. 教育, 人間, 自然, 文化などにかかわる諸問題に深い関心を持ち, 社会に積極的に貢献する意欲がある。

<態度>

5. 積極的に他者とかわり, 対話を通して相互理解に努めようとする態度を有している。

●課程のカリキュラム

カリキュラムの概要

・スポーツ指導者養成コース

本コースでは, 学校体育や生涯スポーツ(総合型地域スポーツクラブ, 公共スポーツ施設, 商業スポーツクラブ), 医療関係施設などでスポーツ指導者, 運動指導者として活躍するための知識と実践力を養成します。各学年の主な専門授業科目は以下です。

第1学年:生涯スポーツ概論, 運動学・バイオメカニクス, スポーツ実技

第2学年:トレーニング論, 運動処方理論・実習, 生理学・運動生理学, スポーツマネジメント論

第3学年:生活習慣病概論, スポーツイベント理論・実習, スポーツと栄養学, 救急処置

第4学年:総合型地域スポーツクラブ指導実習, スポーツコミュニケーション, スポーツと統計, アドバンススポーツ

・スポーツキャリア開発コース

本コースでは, スポーツやダンスなどのキャリアを社会や文化で活かせる人材を養成します。学生の自己目標を支援するカリキュラムの中で, 競技生活を発展的に続けながら, 社会の中で広く求められている能力(社会人基礎力)を身につけます。各学年の主な専門授業科目は以下です。

第1学年:スポーツダンスキャリアデザイン論, スポーツ情報処理, スポーツ実技

第2学年:トップアスリート論, スポーツ分析論, スポーツ文化論, スポーツマスメディア論

第3学年:からだと表現行動, 運動とバリアフリー, アドバンススポーツ, アウトドアスポーツ

第4学年:総合型地域スポーツクラブマネジメント実習, スポーツコミュニケーション, スポーツと統計